

## 仙台厚生病院を受診された患者さんへ

当院では下記の臨床研究を実施しております。

通常の診療で得られた過去の診療情報や残存検体等を使用して行われます。このような研究は、国が定めた指針に基づき、対象となる患者さんのお一人ずつから直接同意を得る代わりに、研究の目的を含む研究の実施についての情報を公開する事が必要とされています。また、研究結果を学会等で発表する事がありますが、個人を特定する情報は公開されません。

研究課題名	非造影MRIによる経カテーテル大動脈弁留置術の術前評価に関する研究
当院の診療科・研究責任者	放射線部・佐藤丈洋
他の研究機関	
本研究の目的	経カテーテル大動脈弁留置術(TAVI)の術前評価は正確なサイズの人工弁を留置する上で極めて重要であり、手技に伴う致命的な合併症を回避します。その評価のゴールドスタンダードは造影CTですが、高度腎機能障害がある症例では造影剤使用で腎機能悪化が懸念されます。そのため、代替検査として非造影MRIによる大動脈弁複合体の評価が期待されています。今回の目的は、TAVIの術前に大動脈弁複合体評価を造影CTの代わりに非造影MRIを用いることが妥当かを明らかにすることです。
調査データの該当期間	2018年12月1日より約1.5年間
研究の方法（対象となる方）	仙台厚生病院でTAVIを予定している症例のうち、術前評価のため外来で造影CTを行い、主治医が体内金属や長時間姿勢保持可能で、手術数日前の入院中に検査可能と判断して非造影MRIも行われた患者の検査画像が対象です。
研究の方法（利用する情報）	TAVI前に検査した造影CTと非造影MRIの画像を用い、弁輪、バルサルバ洞、冠動脈起始部、バルサルバ洞上行大動脈移行部について計測し、造影CTと非造影MRIの計測結果を比較します。
個人情報の取扱い	使用する情報から氏名や住所等の対象者を直接特定できる個人情報は削除致します。 研究結果を学会等で発表する可能性がございますが、その際も対象者を特定できる個人情報は使用致しません。
本研究の資金源（利益相反）	本研究に関連し、開示すべき利益相反はありません。
お問い合わせ先	研究への利用を拒否する場合等の連絡先 【電話】 022-222-6181（内線164） 【担当者】 佐藤丈洋
備考	